

(銀のエンジェル賞 小学生中高学年の部)

## 青色のカギ

小四・荒木 凜子

「もとの町にかえりたいなあ。」

りなは、大きくため息をついて、岬にねころんだ。転校してきたばかりで、まだこの土地になれないりなの、唯一のお気に入り場所。初めて来た時、海と空の青色にはさまれて、りなの心もすつきり青色に変わっていく気がした。新しい町、生活、友達。不安もあったけど、あの時はまだワクワクした気持ちも残っていたな、と思いつた。でも最近はずっと曇り空で、海も、空も、りなも灰色だった。

もう一度ため息をついて体をおこすと、しげみの方に黒い穴がちらっと見えた。

「何だろう。あんなもの、あったかな。」

近づくくと、黒い穴はヒューと灰色のシャボン玉のようなものを吸い込んでいた。

「何これ。ちよつとこわい。」

そう思いながらも、久しぶりのドキドキする出来事にりなはうれしくなって、もう少し近づいてみた。すると、穴のそばに小さなアナグマが見えた。

「ええ。何あれ。巢なの。」

りなの声に驚いて、アナグマはにげだそうとした。

「まって。この穴なあに？何してるの。」

---

りなはとつきに、そして久しぶりに誰かに声をかけた。するとアナグマはもつと驚いて、

「何いつてるの。これは君の穴でもあるじゃないか。みんなが灰色をだすから、集めてるんだよ。次から次へとでるから、集めきれなくて。空も海も灰色のままだよ。ぼくはここからの景色が好きなんだ。青色を見たことがあるかい。またあの景色をみられるようにがんばっているのさ。大変だけどね。でも、変えたいなら、自分でやらなきゃ。」

りなは、一生けん命答えた。

「青色、一度だけ見たことあるわ。この町に来た日。私も青色の方がずっといいと思う。青色に戻るにはどうしたらいいの。私も協力するから、教えて。」

するとアナグマは言った。

「ぼくだって戻す方法は知らないさ。ぼくが知っているのは、灰色がたくさんできてきたら、穴にすてるって事だよ。世界がまっ黒にならないように。これはアナグマに伝わる仕事なんだ。ぼくは父さんに教わった。まあ、君も戻す方法知らないなら、集めるの手伝ってよ。岬がおわったら、学校の裏林に行くからね。あそこもすごい灰色が出るんだ。」

その日から、りなはアナグマが灰色を集めて穴にすてるのを手伝った。といっても、穴が見つからないように見はりをしたり、効率よく灰色を集められるように、よく出る場所や時間をメモするだけだったけど。穴はアナグマの腰につけた巾着に入れて、持ち歩いた。

灰色集めに協力しているうちに、少しずつ灰色のことがわかってきた。出やすいのは月曜日、休みあけの朝。学校とか仕事場とか、人のたくさん集まる場所。学校の裏林には、先生も来た。あまり話

---

さないし、きびしい先生かと思ったけど、「生徒と上手く話すには、どうしたらいいのだろう。」とものすごく大きな灰色が出てきて驚いた。先生も話すの得意じゃないんだ。時々目が合う、前の席の女の子。おたがいつもだまったまま。「今日もきんちょうしたなあ。」とつぶやいて帰る彼女から出てくる小さなたくさんの灰色を、アナグマはせっせと集めていた。あの子も学校でがんばってるんだな。会社の周りはすごいのもあった。おくさんと子供が病気なのに、仕事が出来ないのだった。灰色というより黒い感じで、アナグマがすごく重そうに運んでいた。

そういえば最近、岬に行っていないな。

「アナグマ、どうして岬に行かないの。いつも岬からスタートしてたじゃない。」

「だって今は灰色でてないもん。りなだって、ため息ついてないでしょ。岬は、秘密の場所なんだよ。普通は入れないのに、灰色ができるようになって、心配してたんだ。岬は青色に元気をもらいに行くんだよ。りなも青色みたこと、あったんだろ？灰色はでなくなったけど、青色に戻らないからなあ。あと一歩かな。」

アナグマは私をちらっと見たけど、あとは何もいわなかった。

家に帰って、アナグマの言葉を思い出していた。たしかにためいき、つかなくなった。みんないろいろあるんだと知ったら、自分も少しがんばれるようになった。岬で見た空と海の青色を、また少し、思い出した。

次の日学校でプリントを回す時、前の席の女の子と目が合った。なぜだか、声が出た。

「ありがとう。」

「うん。」

---

アナグマとの待ち合わせ場所に向かいながら、明日はおはようつて言ってみようかなとりなは思った。アナグマがいなくて、りなは岬へ急いだ。アナグマが穴を広げて待っていた。

「そのカギ、かして。」

気づくと、りなは青色のカギを手にはぎっていた。

「もう穴もいっぱいだし、どうしようかと思っていたよ。」

穴は変な形に変わって、アナグマがさしこむと、青色のカギにぴったりはまった。そしてカギは穴ごとすーっと消えてしまった。

次の日は、すぐきれいな青空だった。岬に行ったけど、アナグマには会えなかった。空の青と海の青が、りなの心に広がっていた。

また灰色がでる日もあるのかな。でも大丈夫。私は青色のカギを、きつと持っている。

---